

事例 24 我が国の宇宙開発事業に貢献する国有林野の活用



(九州森林管理局

屋久島森林管理署)

- 鹿児島県熊毛郡 (くまげぐん)
南種子町(みなみたねまち)
立本(たてもと)国有林
- SFA3 及び搬入路整備箇所の様子

屋久島森林管理署では、鹿
児島^{たねがしま}種子島にある国立研究開

発法人宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の種子島宇宙センターにおける「第3衛星フェアリング組立棟」(SFA3)の整備に当たり、必要となる敷地として、国有林野の売払いを行いました。

SFA3の整備については、現行施設の老朽化に伴い、次期基幹ロケットであるH3ロケットの打上げに対応できる施設へ更新するため計画されました。あわせて、現在の搬入路が住宅密集地を通過するルートとなっていることから、資機材搬入時の通行制限の軽減等周辺住民の負担軽減のため、新たな輸送ルートも整備される計画となっていました。

H3ロケットについては、森林・林業分野でも活用が期待されている準天頂衛星を始め、政府の重要なミッションを数多く担う予定であり、地域住民の生活環境の改善にも資する事業であることから、国有林野の管理経営上の支障がないことを確認した上で、約42haの国有林野についてJAXAとの間で売買契約を締結し、売払いを行いました。